

社会福祉法人 江東楓の会

発行日 令和5年 12月 22日



社会福祉法人江東楓の会 編集責任者 理事長 伊藤 善彦

発行所 江東区東陽4-8-10 202号室 TEL 5617-3750 FAX 5617-3752

副理事長あいさつ

社会福祉法人江東楓の会 副理事長 宮内 洋

白い息に冬の訪れを感じるこの頃となってまいりました。

今年、9月末をもって、長らくパンの製造販売を柱に運営してきた高齢障害者通所施設さくら分室こんとねが事業廃止いたしました。通所していた利用者は、実習を経て、希望する他事業所へ移行されています。これまで、共にごんばってきた仲間と離れることはさみしい思いもありましたが、新しい環境での生活に希望を持ってスタートを切ることができました。今後もさくら職員によるアフターケアなど継続的な支援を行うことが出来るようにサポートしていきます。

また、同じ建物に入っていた法人本部及び楓の会ヘルパーセンターも移転することとなり、法人職員の協力のもと移転作業にあたりました。その他、法務局への登記変更、江東区への定款（住所変更）など各種届け出の作業も並行して行っています。現在は移転作業が終わり、ようやく落ち着いてきました。

尚、同居していた江東区手をつなぐ親の会も一緒に移転しています。

これから年度末に向けて慌ただしくなる時期ですが、新しい環境を前に、より一層業務に邁進していかなくてはと、心を新たにしたところです。

移転先の新住所は

江東区東陽4丁目8-10 西本ビル202号室です。

江東区役所近くなので、お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。お待ちしております。

「近況報告」

グループホームかえで 管理者 仲俣 圭

慌ただしいままの毎日を過ごしているうちに、あっという間に年末を迎える頃になりました。

世の中では大分コロナ禍以前の生活スタイルに戻ってきていますが、コロナウイルスがなくなったわけではありません。また、これからの季節はインフルエンザやノロウイルスといった感染症にも備えていかななくてはならず、改めてグループホームにおける健康管理の重要性を痛感しています。

グループホームかえででは、長い長いそして暑い暑い夏を何とか乗り越えました（さすがにもう今年には夏はないかと思えます）。そして突然というくらい寒い冬がやってきたように思えます。なかなか季節の変化に体がついていかれませんが、利用者の皆さまにおいては、週末には思い思いに外出したり、居室でゆっくりしたり過ごされています。また作業所など通所施設では行事が再開されて、毎週のように誰かが「今日は〇〇に行ってきた」と楽しそうに話をしてくれます。今まであまりそういった行事には参加してこなかった方が最近では参加するようになってきたなあと感じており、やはりそういった行事は生活の潤いになるのだらうと思えます。そういう意味でグループホームかえでも、今年は初詣行事を再開しようかと考えているところです。

さて前回の会報では、「年末に利用者の皆さまと『今年は〇〇だったねえ』と楽しく振り返れる一年にしていきたい」と書きました。利用者の皆さま、ご家族関係者の皆さま、世話人の皆さま方にとって2023年はどのような一年になったのでしょうか？ 楽しく一緒に一年を振り返られればと思います。

「“コロナ後”の行事」

第三あすなろ作業所 支援員 辰巳 普

入職以来三年間、コロナ禍でストップしていた行事が少しずつ再開・拡大されていく過程で業務を行ってきました。今年度4年ぶりに実施された宿泊旅行は、利用者の皆さんが半年以上前から楽しみにされていたので、まず中止や延期となることなく無事に終えられたことが何より良かったです。

旅行では石和温泉方面でのパフェ作り、信玄餅工場見学、ぶどう狩り等盛り沢山のスケジュールを満喫しました。日常の日中活動よりも長い時間を共有したことで、利用者の皆さんの普段は見られない一面を新しく知ることが出来たように思います。

宿泊旅行を始め、バスハイクや小グループ外出、お祭り、クラブ活動といった「行事」は、毎日の作業から離れるリフレッシュの機会や大きな楽しみになり、ひいては作業をまた「頑張ろう」と前向きな気持ちにさせてくれるものだと感じています。これまではコロナ禍以前の資料を参照しながら行事の実施に繋げていくことを主眼に置いていました。今後は、各行事が再開されてきた中で生まれている新たなアイデアや利用者の皆さんの声を汲み取りつつ、より楽しく充実した時間を過ごせるような企画をしていきたいです。

「お出かけスポット」

楓の会ヘルパーセンター 職員 萩原 洋

あの暑かった夏が過ぎ、お出かけにはちょうど良い季節となりましたが、皆様は如何お過ごしでしょうか。

さて、楓の会ヘルパーセンターでは、休日のお出かけとして移動支援事業を利用される方が多くいらっしゃいます。「お出かけ先はヘルパーさんにお任せします」という場合もあり、悩んでしまうこともあります。それでも利用者に喜んでもらうため、情報収集に励んでいます！その例として、『ぶらり途中下車の旅』を参考に、支援に取り入れることがあります。もちろん完全に真似るわけではありませんが、旅人が寄ったお店や乗った路線を参考にして、お出かけしています。

利用者から最近要望があつて出かけたのは、先日まで開催されていた東京ビッグサイトでの『JAPAN MOBILITY SHOW』（旧東京モーターショー）でした。これからはクリスマスのイルミネーションがきれいな時期なので、それを楽しみにされている方もいます。その他には、羽田空港や横浜みなとみらいなども人気があります。また、過去には、高尾山口や飯能へ行ったり、三崎口でマグロを食べたり、少し遠くまでお出かけしました。

もし、移動支援で行先が思いつかないという方は、お気軽にご相談ください。宜しくお願ひ致します。



「作業の獲得について」

若竹作業所 支援員 笠原 正寛

受注作業の獲得、利用者の工賃向上に向けての取り組みとして、今年度の初めに職員ミーティングにて、作業受注依頼が重なった際に、作業工程だけに注目せず作業単価も参考に調整ができるように、現在行っている受注作業の単価を職員間で共有しました。また、作業予定表を文字情報のみのものから、受注状況がひと目で分かるように棒グラフ状のものに替え、毎週月曜日の職員朝礼時に一週間ないし二週間の作業状況の確認を行うようにしました。加えて、作業が少ない時には作業受注先へ受けられる作業がないかを問い合わせることや、作業単価引き上げの交渉、受注には至っていませんが新規受注先開拓に向けた問い合わせ等、力を合わせて取り組んでいます。

そして、今年度よりTシャツのプリント作業が始まり、分室が中心となって進めています。開始した当初より本館と分室で連携しながら取り組んでおり、現在は軌道に乗ってきたところです。

これからも「作業の獲得」という課題に対し、作業依頼をいただいた時に受けられない理由から考えるのではなく、「何かを工夫して受けることはできないか」という柔軟な発想を持ちながら前向きに頑張っていきたいです。

「工賃アップに向けて！」

江東区あすなろ作業所 支援員 蕨鉄 元気クルニア

江東区あすなろ作業所では昨年度より始めた「株式会社 KNT365」から受注している作業についてご紹介致します。

KNT365 様では、ペットボトルをリサイクルした再生ポリエステル糸やオーガニックコットンなどを材料に、バッグを中心とするアパレルアイテムを生産する企業です。作品にならなかった物の端材を使用し、裁断ロスの削減、少人数での生産の実現など環境に配慮し社会貢献に取り組んでいます。

当施設では主にトートバッグの畳み梱包作業、リボンの縫製作業に取り組んでいます。トートバッグは折り畳んだ時に小さくまとめることができるようバンドを用いてコンパクトにしています。バンドにもペットボトルから再生された素材が使用されています。様々な絵柄や色があり、利用者の皆さん毎回どのような絵柄なのか楽しみながら取り組んでおり人気の作業の一つとなっています。

今年度から、法人内の就労継続支援 B 型の各施設と協力し合いながらの作業が増えており、度々各施設に訪問させて頂きました。誠にありがとうございました。皆様と共に工賃の向上に繋げて行けたらと思っております。今後とも宜しくお願い致します。

「さくらでの楽しみのために」

高齢障害者通所施設さくら 看護師 神内 梓

…仕事に行くのが憂鬱だなあ。

そんな風に思うことはありますか？

たまにあるかなあ。いやいや、毎日だよ…なんて人もいるかとは思いますが、さくらの皆さんは、毎日の作業をとて楽しみにしています。「今日は何の仕事ですか?」「新しい仕事やってみたい!」なんて声が日々聞こえ、休憩時間も「ちょっとやってもいい?」なんて発言も!皆さん、現役時代からバリバリと作業をされていた方なので、働くこと自体が日々の活力となっています。先月は、還暦(60)、古希(70)、喜寿(77)、傘寿(80)まで4名の方々の長寿をお祝いする敬老会を開催しました。これまで健康で年齢を重ねて来られたことへの感謝の気持ちと、これからも仕事を頑張っていきたいという言葉が聞かれ、頭が下がる思いでした。

また、最近潮見の仮設から近いので「夢の島に行ってみた〜い」とリクエストがあり熱帯植物園へ行きました。ハロウィンシーズンということもあり、大きなカボチャにビックリしたり、フォトスポットでポーズを決めたり。段差のない室内だけでは、足腰も衰えていくので、天気と相談しながらですが、なるべく楽しく外に出掛ける機会を設けて健康維持に努めています。さくらでは毎朝ストレッチをしながらのラジオ体操、昼食前には口腔体操、午後の活動前には筋トレ、また週に1度は午後の1時間を使って体操をするなど、他の事業所に比べて身体を動かす機会は多いのではないのでしょうか。こまめに身体を動かす機会を設け、楽しみに向けて備えています。

「リバーハウスの楽しみ」

江東区リバーハウス東砂 支援員 山上 健太

リバーハウスのグループホームへ入居されている皆さまにも、各日中活動先の事業所のように、外出行事やお食事会などの「お楽しみ会」を行っています。

さかのぼること4年前。私がリバーハウスに赴任した時に「お食事会」という交流を深める目的で、年に一度みんなで夕食を行っていました。しかし翌年にコロナが大流行して以降、お楽しみ会を中止せざるをえない状況となりました。

そして、全国的にコロナの状況が落ち着いてきた昨年からお楽しみ会をようやく再開することができました。去年のクリスマスは、ピザを注文してリバーハウスでクリスマス会を開催。久々にみんなで集まってという事もあり、皆さん微笑ましい様子で楽しんでいました。また、外出行事では横須賀へも行ってきました。

今年は、「夏を感じる会」を7月に開催。夕食後、花火をやりその後、利用者の皆さんが選んで購入したアイスを食べました。直近では、11月23日、希望が多かった「イクスピアリ」に行きました。皆さんでランチをして、ディズニーの雰囲気を感じてきました。行事では、普段見られない利用者さんの笑顔や一面が見れるので職員も大満足です。

これからも、グループホームの皆さんによりリバーハウスの生活を楽しんで過ごさせていけるように、「楽しみ」をたくさん考えていきたいと思っています。

「行事について」

江東区亀戸福祉園 支援員 半田 力也

今年度の亀戸福祉園のお祭りは、イベントでは大道芸人やサンバの方々に来ていただき、またご家族の皆様も招待し開催しました。昨年度同様ですが、かめ亀ウィークと題して五日間のお祭りという形で曜日ごとに各グループに分かれて行いました。内容は、ゲームコーナーとして射的・魚釣り・ボウリングを、模擬店風に、綿あめ・クレープブースを用意しました。最終日は、数年ぶりにご利用者全員ワンフロアに集まり、大道芸のジャグリングやタップダンスを食い入るように見ていました。サンバの場面では、皆さんの前に出ることが少ない方がステージに出て踊るなど、普段見ることの出来ない姿を見られたことが印象的でした！ご利用者も職員も一緒になって笑顔で楽しんでいる様子が、コロナ禍前のお祭りをやっていた頃と重なり嬉しく思いました。

その他、移動動物園の招待や東京ドームシティへの外出など、グループごとに企画したイベントを実施しました。特に移動動物園では、ご利用者がへびを首に巻いてみたり、豚に餌をあげたり、日頃接する機会がない動物に触れるといった珍しい体験をすることができました。もちろん記念写真撮影もばっちりです。

来年度は、少しでもコロナ禍前のお祭りに近づけるよう準備を進めていきたいと思っています。その中で、地域交流やご利用者の皆さんの楽しめる企画ができればと思います。

「就労支援の現状と取り組み」

ワークセンターつばさ 支援員 佐藤 史仁

現在、就労移行には3名在籍しています。今年度は12月1日時点で2名の就労者が決まりました。今回は12月に就職が決まった方について紹介します。

就職を目指したいとつばさに入所されましたが、他県から引っ越してこられたとのことでしたので、まずは環境の変化に慣れていただけるよう、就労継続B型を利用いただき、本人とコミュニケーションを丁寧に数多く取ることから始めました。B型利用から11ヶ月後、本人、家庭、計画相談員と相談の結果、就労移行の利用を開始しました。

一般就労未経験の方でしたので、最初にハローワークへ一緒に行き、実際の求人票を見ることや仕事へのイメージを聞くことから始めました。『仕事をする＝お金を稼ぐ』ということは解っていても、仕事内容を想像することは難しいようでした。そのため、「服飾関係に興味がある」、「自分の趣味（アニメ、キャラクター関係等）の仕事に就きたい」とあったので、それに携わる仕事内容を説明しました。いずれも業務内容は多岐にわたり、数多くの企業が出て来て悩ませてしまいましたが、選択肢は広がりました。一方で、新しいものに目移りして、「その会社が良いです」となることもありました。そのため、勤務時間、休日、通勤経路及び時間等の希望と併せて本人の希望に沿えるものに絞りながらあたっていった結果、ご縁ある企業へとつながることができました。

就職は収入を得ることだけを目的にするのではなく、視野を広げていただきたいことや人生の選択肢を増やしていただきたい気持ちで取り組んでいます。アフターケアで訪問した際には成長した姿を見ることが出来るのもやりがいに感じます。



令和5年度 後援会会員名簿

<賛助会員>

(第52号からつづく)

| | | | | |
|--------|---------|------------|--------|--------|
| 愛甲 和子 | 宇田川 知幸 | 斉藤 美雪 | 全 将貴 | 文屋 美佐子 |
| 会田 直子 | 梅内 千佳夫 | 斉藤 良子 | 全 真和 | 星野 麻由美 |
| 会田 久雄 | 梅澤 崇 | 齋藤 沙友里 | 積田 礼子 | 星屋 真理子 |
| 会田 秀子 | 浦部 友宏 | 三枝 伸 | 東條 里香 | 本間 一洋 |
| 青木 知子 | エゼンバ 織沙 | 榊 勝一 | 得重 博史 | 榊満 美希 |
| 秋田 かおり | 遠藤 仁美 | 坂詰 真里 | 得重 純子 | 松崎 リツ子 |
| 秋庭 敏宏 | 及川 忠 | 坂本 夢来 | 戸田 明宏 | 松渕 秀美 |
| 阿部 秀和 | 及川 綾乃 | 佐久間 勉 | 戸松 和恵 | 松村 清次 |
| 阿部 勝 | 大須賀 宣恵 | 櫻井 綾子 | 富田 眞 | 松本 和久 |
| 阿部 道子 | 大砂 しづ子 | 桜井 千鶴子 | 土谷 佳代 | 丸山 裕輔 |
| 新井 康介 | 大西 潤 | 佐々木 緑 | 中島 清美 | 三上 友芽 |
| 新井 由美 | 岡倉 守男 | 佐々木 智彦 | 中島 増夫 | 神子沢 奈月 |
| 荒木 智帆 | 岡崎 吉泰 | 佐竹 良美 | 永島 真由美 | 神子沢 尚子 |
| 有馬 裕美 | 奥田 千香子 | 佐藤 史仁 | 長瀬 亮一 | 水島 聖子 |
| 安藤 修 | 奥野 太一 | 佐藤 えりか | 仲宗根 浩介 | 水谷 のぶ子 |
| 安藤 さゆり | 小倉 成子 | 佐藤 奈津子 | 中野 和広 | 水野 富一郎 |
| 安藤 美佐子 | 小田 一枝 | 澤村 泉 | 中野 健一 | 峯尾 豪 |
| 猪狩 健治 | 小高 郁乃 | 鹿間 勝 | 仲俣 圭 | 三村 久美枝 |
| 池田 顕思郎 | 尾戸 千尋 | 茂野 陽子 | 中邨 敏子 | 宮内 洋 |
| 池山 遼一 | 小野寺 千賀 | 品田 友香 | 中山 晴貴 | 宮岡 友美 |
| 伊佐 剛 | 小原 直人 | 篠崎 敏昭 | 中山 光威 | 宗 久美子 |
| 井沢 元樹 | 掛川 善至 | 柴原 弘子 | 名古屋 敬太 | 宗 菜摘 |
| 石井 君代 | 陰山 香苗 | 嶋田 有華 | 夏梅 照子 | 村井 京子 |
| 石井 梨乃 | 笠原 正寛 | 清水 大稀 | 成田 由美子 | 村上 龍 |
| 石井 潤一朗 | 片上 友美 | 下尾 剛 | 仁井田 和幸 | 村木 裕人 |
| 石川 信彦 | 片桐 謙一 | 白井 千尋 | 新田 好子 | 村佐 匡平 |
| 石田 強史 | 片桐 湖生 | 新舗 文彦 | 楡井 加梨 | 村田 茂儀 |
| 石田 誠 | 片野 清 | 菅谷 栄二 | 沼田 雅晴 | 村松 真一 |
| 石田 知子 | 加藤 勇二 | 菅原 秀人 | 野中 勉 | 百田 美帆 |
| 石村 哲郎 | 加藤 リツ子 | 杉本 佑生 | 橋本 知佳 | 森 幸子 |
| 石山 智恵 | 金井 正夫 | 杉山 清人 | 橋本 春美 | 森田 純一郎 |
| 和泉 佑佳 | 金井 友香 | 杉山 廣子 | 長谷 雅子 | 森谷 和奈 |
| 磯本 広樹 | 神 貴之 | 鈴木 淳美 | 長谷川 俊 | 谷貝 正興 |
| 伊藤 和子 | 神 博子 | 鈴木 邦治 | 長谷川 貴男 | 八木 友香 |
| 伊藤 可南子 | 川口 晃洋 | 鈴木 香希 | 埴谷 孝行 | 矢倉 大雅 |
| 伊藤 純一 | 川澄 花代 | 鈴木 正典 | 濱谷 美幸 | 八島 里志 |
| 伊藤 隆行 | 川端 美喜雄 | 仙名 久美子 | 早川 久美子 | 八島 美佐子 |
| 伊藤 善彦 | 神成 旭 | 蘆鉄 元気 クルニア | 林 毅彦 | 八ッ繁 匡生 |
| 伊藤 涼子 | 菊地 賢志 | 小林 裕一 | 原 隆典 | 山岡 正広 |
| 伊藤 小夜子 | 菊池 太郎 | 高月 のぞみ | 原 未来 | 山上 健太 |

| | | | | |
|--------|--------|--------|--------|-------|
| 井奈波 彩未 | 北川 幸代 | 高橋 絵里 | 原 優子 | 山口 彩 |
| 乾 沙織 | 北原 正晴 | 高橋 淳子 | 針ヶ谷 清子 | 山口 益弘 |
| 井上 貴史 | 木村 桃子 | 高橋 愛美 | 半田 力也 | 山崎 護 |
| 今井 達也 | 工藤 紀之 | 高橋 久美子 | 樋熊 和美 | 山崎 結子 |
| 今井 千夏 | 工藤 利佳 | 高橋 秀一郎 | 日高 稔成 | 山田 修司 |
| 入江 宏 | 熊倉 歳之 | 高橋 真理子 | 平栗 聖也 | 山中 修司 |
| 岩崎 翔純 | 倉田 久美 | 瀧本 正一郎 | 平塚 精一 | 山本 伸一 |
| 岩橋 稔 | 小桜 勲 | 竹内 智海 | 平塚 早央里 | 山本 広人 |
| 岩間 頌子 | 小平 亜弓 | 武田 俊彦 | 平野 哲也 | 横山 初子 |
| 上田 晃 | 小林 志郎 | 武田 昌和 | 平野 智寛 | 米川 直輝 |
| 上野 順子 | 小林 恵美里 | 竹田 祐樹 | 平山 史弥 | 若井 一郎 |
| 上原 結花 | 小宮 聡子 | 竹田 理恵 | 廣瀬 真衣 | 我妻 孝一 |
| 宇佐美 友恵 | 齋藤 麻美 | 辰巳 普 | 福家 美奈子 | 若山 真人 |
| 臼杵 宏子 | 斉藤 誠 | 田中 美羽 | 藤野 翼 | 脇田 歩 |
| 臼倉 幸夫 | 齋藤 優恵 | 千葉 裕子 | 古河 宏太郎 | 脇田 芳子 |
| | | | | 渡邊 恭史 |
| | | | | 渡部 博信 |
| | | | | 亘 則光 |

(敬称略、順不同)

(なお、令和 5 年 12 月 1 日以降 賛助会員は次号につづく)

ご寄付

ご寄付を賜り誠にありがとうございました

- 一般社団法人パープル
木原 菜々子 様
- 新ガーデン亀戸 様
- 株式会社 筑波銀行
代表取締役 生田 雅彦 様

ご寄付いただいたものは、法人の事業に使わせて頂いております

《編集後記》

会員の皆様には、日頃から当法人の運営に際し、多大なるご協力とご理解を賜りありがとうございます。早いもので気がつけば年の瀬も近づいてまいりました。私はこたつで過ごす休日が大好きで、冬はもっぱら我が家のねこちゃんと一緒に‘こたつむし’になっています。人に自慢できるようなおしゃれ生活空間ではありませんが、私にとってはいちばんホッとできる場所です。人それぞれ、“いちばん”は違うもの。何をもってその人が大事と感じているのか、見て、聞いて、触れてみて…まずは相手を知ることから始めてみると、自分にお得なことが多いなあと日々感じています。小さな発見、小さな幸せに心をほっこりさせながら過ごしていきたいものです。

